

香川ニュース

第 25 号

発行人 香川新聞社
編集長 金子 三郎
印刷所 香川印刷
発行所 香川新聞社
〒760 香川新聞社
0463 (55) 3721

駅周辺の花壇を手入れ

各種団体が実施(五月七日)

人口密集地につきものの公害とはうらはらに、地味ながらも美化運動を推しすすめている団体が市内にはいくつもある。香川駅周辺の花壇もそのひとつ。

なかでも、最も強力に推し進めているのがこの香川地区の団体である。今年も自治会文化厚生委員の呼びかけによって五月七日に各種団体が香川駅に集合、手に鎌や鍬や鎌を持ってそれぞれ花壇の手入れを行なった。やがては、この香川を花いっぱいにするべく、いっばいで埋めつくしたといは関係者の話で、呼べど叫べどまだ一般の

参加がほとんどなかったのがさびしい。この花壇、自治会をはじめ、老人会、婦人会、青年会、聖恵幼稚園母の会等、各種団体が力を寄せ合せて、昭和三十一年をかわきりに八年間も続けてきたのである。この間、それぞれの団体が県や市から表彰を受けたこともあり、なお一層の努力が望まれたわけ

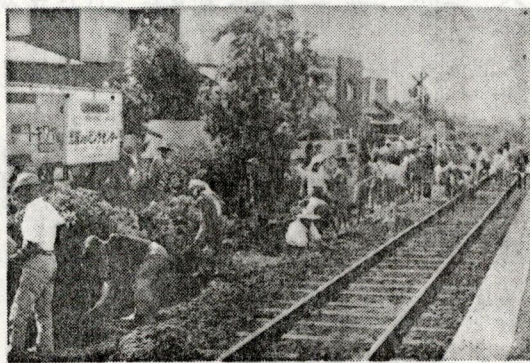
神社改修工事 完成は十一月?

老朽化した神社の改修工事にあてるためのみなさんから寄せられた寄附金は、五月三十一日現在三百八十八万三千五百円に達した旨の発表が、六月三日の自治会役員会の席上で神社側役員から発表された。

神社側ではさつそく予定の工事に取りかかったが、この工事費当初の見積額からくらべると大巾にくりいを生

じ、神社側役員をなやませている。昨年九月工事すべく見積額を算出してもらったところ、総額二百二十五万六千四百円、このうち五十万円は神社側が蓄えておいた預金を充ち、百七十五万円は余りの寄附を仰げば一応工事はできるものとしていたが、今年四月、再度具体的見積額をしたところ総額三百七十七万五千円と、神

社側役員は見積のずさんさにこれをどう説明したらよいか、と、かんかんである。工期も大巾にのびて、拝殿の方が七月中旬、その他の工事が十月か十一月に完了するとのことであった。いずれにしても三百有余年を経過している建物だけにこのまま放置することはできず、現在工事を進めているが、一日も早くこの工事を完了させたいものである。なお、経費については神社側から発表のあり次第、その詳細を掲載する予定です。



各種団体の役員によって手入れされた花壇も、今は花や青葉できれいに色どられ、香川駅の利用者の心を引きつけている。

であるが、半公共的な事業ともなると、そのほとんどが役員に任せられ、一般の参加がほとんどみられないのが心ざびしいのである。さて、今年も五月七日に誕生して二十五周年、市の広報によれば茅ヶ崎市でも市の花、市の木を定めてこのまちを花や木で美しくしようと努力している。

わたしたちもこれを機会に、もう一度美化運動ということを考えなおしてみようではありませんか。お宅の前の道路や下水道、これらを清掃することも美化運動の一つです。一人ひとりの心がけでこの香川の地もみちがえり、きれいになることでしょう。

道路や排水路の整備補修を要望

道路や下水の整備補修については市当局においても重要事業の一つとして年々その整備補修に努力していることがうかがえるが、当香川地区についてはそれが必ずしも満足すべきものとはいえないのが現状である。自治会としても毎年これらの事項を市当局に要望し、今年も去る五月町内会長会議を開催して要望事項としてとりまとめ、早急な実施すべく市当局に要望したものである。

まず道路関係については、①香川駅南の門前線道路の一部拡中を要望したのをはじめ、②保育園西側の間線道路の私有地の措置、③新倉栄一宅南より西へ一〇メートルの道路補装、④山口商店より西へ一五メートルの道路補装、⑤三番地附近の私道の整備、⑥ショコーストアー裏道路一〇メートルの補装を要望したものである。また排水施設については、①中通り一三〇三番地附近の私設排水路の改修を要望したのをはじめ、②駅東側より神社に至る

間に下水道を設ける件、③北町戸羽氏宅前の排水路側面の穴の修理、④用排水路を小出川改修後東急なみに整備する件、⑤東一七〇七番地附近の下水道設置の件、⑥南用水路下流の整備。そのほか大山街道附近の水道みちじやりを敷く件、チサン団地北側間門線道路の安全を確保する件、用排水路の全面消毒。これらを早急な実施すべく要望したものである。これに対して市当局では、保育園西側の間門線道路の私有地分については、今年度中に買収を予定することを明らかにしたほか、北戸羽氏宅前の排水路側面の穴の修理、東一七〇七番地附近の下水道の新設、南用水路の下流の整備、玄圃寺西側の道路の一部補修を今年度中に整備補修することによって約束した。これらの道路や排水路の整備については、自治会としても重要施策の一つとして、今後も強力に市当局に働きかけることにしている。

7月のこよみ

- 1日 郵便番号制度が発足(昭43)
- 2日 金閣寺が同寺徒弟の放火によって全焼(昭25)
- 3日 瀬戸内海の小豆島で別府航路緑丸が千山丸と衝突死者八六八(昭10)
- 4日 新東京国際空港の建設地を千葉県成田市三里塚と閣議決定(昭41)
- 5日 東京後楽園野球場で初のナイター(昭25)
- 6日 アナタハン島で敗戦を知らずにいた日本兵一九人と女性一人帰る(昭26) 大撲相この年より六本場所制となり初の名古屋場所(昭33)
- 7日 盧溝橋で日中両軍が衝突(昭12)
- 8日 防衛庁新島で国産初の空対空ミサイルの試験に成功(昭38)
- 9日 厚生省日本脳炎を法定伝染病に指定(昭21)
- 15日 中央線三鷹駅で無人電車暴走事件がおこり六人死亡(昭24)
- 18日 山陰北陸地方に豪雨、死者行方不明一二人、全壊流出家屋二七戸(昭39)
- 19日 初の婦人大臣中山マサ厚生大臣誕生(昭35) 第一五回オリピックがヘルシンキで開催日本戦後初参加(昭27)
- 28日 三重県津市海岸で水泳講習中の女子中学生が高波にのまれて三六人水死(昭30)

犯罪や事故をなくして夏を楽しく

夏は特に犯罪の多い時期といわれています。お出かけのとき、お互いに注意してください。また、水泳講習中の女子中学生が溺れた事故も、十分注意してください。

赤十字募金に二十万二千七百円

毎年貧しい人々を助けるために行なわれている赤十字募金が今年も市の社会福祉協議会によって行なわれました。自治会費は、みなさんの会費によって、二十万二千七百円を六月六日づけをもって市の社会福祉協議会に納入いたしましたので報告いたします。これらの金銭は同協議会によって市内の不幸な方々に配分されます。

防犯灯の修繕は

防犯灯はそれのみが役目ではありません。夜間の外出などの時には道路の照明にも役立っています。電球がきれいなときは、香川電気に連絡してください。5日以内にとりかえます。

計報

東11組の1 石岡達一様六月一日死去されました。原11組 名倉憲三様六月四日死去されました。中通り16組の2 古谷賢蔵様六月十二日死去されました。右相続人の方が、自治会に金一封が寄せられましたので、ご報告します。

婦人会の活動さかん

婦人会で会員募集中

ひと昔前までは農村地帯であったこの香川も近年住宅地の波が押し寄せ、表面にこそ出されていまいがいろいろな問題がおこりつつある。

これは全国的な傾向と思われ、婦人会という組織も昔からくまなく一八〇度にも転回したといえよう。

県地婦連協議会、市婦連協議会、農協婦人部等に加盟し、新生活運動の一環としていろいろな活動を続けている。例えば、毎日のくらしの中で困っていること、希望していること等具体的に出し合っており、学識経験者やメー

カ、小売業者、行政関係者等と話し合いを進めながら問題解決に当たっている。

こうした話し合いの機会を通じて自主的な生活態度を養ってゆくのもひとつのねらいです。

化粧品やカトラによるイメージチェンジ、電気製品の品質と価格、また、老後の問題、青少年問題と話し合いを重ねているうち「チクロ」の問題が取り上げられたのもそのひとつである。

そのほかレクリエーション活動では、大岡祭の参加からはじまり、一月一度の駅前花壇の手



入れ、バザーや公共施設の見学、書道、俳句、詩吟、民謡等々なかなか趣味豊かである。

農協婦人部としては法律や社会見学等研修の場を設けて知識の修得に余念がない。

会費は一月五〇円で誰れでも簡単に加入できる。

入会をご希望される方は次の方にその旨ご連絡ください。

熊沢久枝△小野静江△花元久幸△小亀井恭子△橋村ミネ△熊沢千代子△鹿島米子△伊藤礼子△新倉幸子△沓沢ミヤ△川島幸子△井上喜枝△石黒チエ子

四月二十九日に公民館で原地区のこども会による新入会員の歓迎会が行なわれた(会員数百名、そのうち新しく会員となったもの二九名)で、九時三〇分

ら正午まで行なわれた。新入会員の歓迎会もあつて、その内容も魚つりゲームから紙芝居、歌やおどりと小学生らしい催しもの。

新入会員の一年生たちは大喜びで上級生のつくった魚をつり上げてはおおはしゃぎ。

また五六年生がつくった紙芝居も立派なもので指導員たちも舌をまくほどのできばえ。

こどもたちの手でまとめた歓迎会はますます大成功であった。

今までは指導員によるその企画や運営がなされてきただけに、どんなものがだされるか指導員たちも心配されていたところであるが、これだけの内容を立派にやりとげたことに指導員もほっとひといき。

これからは、こども会の行事はいつさいこどもたちの手でつくり進めていくことになつたが、こどもたちにとつても大きな自信となつて、これからの活動が大いに期待されることとなつた。

体育振興会

が発足

新年度自治会から独立した香川の体育振興会に次の役員が選らばれた。この役員は各組長の推薦によつて選出された者ばかりですが、独立した年度当初とあつて、これからの活動が期待されている。

◎印は体育指導員◎印は常任委員長△印は常任副委員長。

会長 亀井隆義、副会長 岡本豊・国末節、事務 比留川豊・三浦ミツエ・大房三郎・大久保洋一・上原博・原田美彌子・熊沢勝司、会計 新倉栄一

お願い

消防署から

消火を妨げる路上駐車。路上の駐車違反は次のような消防活動の妨げになりますので火災安全を守るうえで、ぜひひやめてください。

狭い道路に駐、停車している、消火にかつてつける消防ポンプ自動車等の通行ができなくなつたり、徐行しなればなりません。

このため現場到着するのが遅れます。

また、消火せん前の駐停車は放水活動ができません。

自動車は、ガソリンを何リットルも積んでいままので火事の際に、自動車が燃え移れば、つぎつぎに爆発し、思わぬところへ延焼する橋わたしの役目もいたします。

路上駐、停車はぜひやめたいものです。

青年会に加入しよう

会員数二十名程度の香川青年会では、若い者同士の親睦を計る意味あいをかねていろいろな活動を行なつていり、今年には会員の増員をはかる目的で、その事業をレクリエーションに主体をおくこと

柳沢宗一・亀井幸夫
東・北・篠谷地区 長谷川俊次・△新倉良和・新井研
陸上部長 大久保洋一
卓球部長 高野利昭
ソフトボール部長 吉川浩郎 活
バレー部長 上原博

ふと...考えること

今岡節子

香川での生活も早や三年、公害にも悩まされず自然に囲まれます。でもこの香川の街に何か欠けているものがある。そんな気がしてならない。駅を拠点として何本もの道が分岐している。安心して歩ける道が何本あるでしょう。乳母車で歩く、車が走る。私たちは乳母車と共に水田に落ち込みそうになる。車が優先し、道行く人は常に危険を背負っている。ドライバー自身も安心して運転できないでしょう。次に夜道はどうか。香川の外灯は非常に少ない。数ばかりの問題ではなく管理もどうなっているのか私たちにわかっていない。昼間から街灯がツキッパナシ逆に球がきれてもなかなかとりかえない。管理についても私たちにどうも明確にしていただきたいのです。寒川から香川にかけて人口は急増しているといわれています。しかしながら街づくりは無計画なもので云つた感じを受けてなりません。少なくとも道路なり下水工事は地域別に家屋が建つ前に完了しておくべきである。東急の分譲地の工事をみていると道路にしても下水にしても、市政より進んでいると考えると、考えるほどむなしさを感じてなりません。私たちの街はやはり私たちがつくる。そのような自覚が必要だと思ふ。例えば政治に無関心でも、私たちの生活なれば、私たちがいつたところから何かを考え、何をしなくはない。このようなことを考えたりするものです。

負けないぞ!!

こども会だつて

中通りのこども会でも五月に総会を開催、47年度を発表したが、そのおもなものをひろつてみると、今月は駅前花壇の手入をはじめ野球やソフトボールの練習試合。7月には水泳練習と

キャンブ。八月には花火大会、十月には香川地区体育祭に参加することなどをきめている。

また鷹取山の親子ハイキングを11月に行い12月には年末のたすけあい。

そして年をかえればマラソン大会や、三月卒業生を送る会として野球大会など盛りたたくさんの行事が予定されている。

俳句集

春眠の頭突抜け救急車
いたまじきニュース伝へぬ竹の秋 柳田ふじ子

春眠をむさぼるもよし里帰り
山門に通ずる道や竹の秋 酒井なを江

サボテンの出し入れせわし別れ霜
忘れ霜気にかかる夜も無事にあけ 井上 喜枝

春眠もなく四季臥せる友は泣く
白椿影無き真昼師の庭に 亀井とみ子

竹秋や里一番の大葉家
瓶から飲む朝の牛乳霜別れ 亀井 湘南

遅れ霜に一言触れて別れけり
花すぎで越路を訪えば花に逢い 藤村 球子

春眠の足りたる素顔鏡の中に
別れ霜捨て人形の目が光る 裕 百合子

読みにくき寺の由緒や竹の秋
早発ちやポストに光る遅れ霜 沓沢 みや

古寺は壁落ちしまま竹の秋
遅れ霜の来るな犯すなおらが幸 間庭 蘇山

来てみれば香川の里も竹の秋
春眠にまだかな夢の日曜日 大胡 悦子

ただ生きるのみ日雇いの竹の秋
春眠をどこまで乗せて終電車 長島 久江